

## 志和利区の老人クラブ ガードレールの清掃



4月29日(木)午前8時から、武蔵町志和利区の老人クラブ(宮川国男会長)がボランティア活動で、市道志和利線全線のガードレール清掃を行いました。クラブ員35人が参加して、ブラシや雑巾を使ってガードレールの清掃に汗を流しました。

コケや排気ガス等で汚れてしまっていたガードレールも、清掃が終了すると白くピカピカになりました。

## 開運！ひまわり祭り

ひまわりの栽培を通じて環境に関心を持ってもらおうと、5月16日(日)、国東町富来浦のりんりんパークで国東活性化委員会(今富正幸会長・28人)主催の「第2回開運！ひまわり祭り春の種まき大作戦」が開催されました。

市内外から約100人が参加し、14アールの休耕田とプランター200個にひまわりの種を蒔きました。



## 「トンテンカンの家」がオープン



▲4月26日(月)完成記念式が行われ、多数の関係者が出席し完成を祝いました。「田舎暮らし体験交流ハウス・トンテンカンの家」が国見町鬼籠にオープンしました。

これは、NPO法人くみにみ粋群(山本純夫理事長)が、移住を希望する方に田舎暮らしを体験してもらおうと、空き家になっていた築60年の民家を改修した滞在施設です。また、滞在中には地元の方の協力により農業体験やアート体験などさまざまな体験メニューが用意されています。

## 「ケーブルテレビの森」開設式

5月8日(土)、武蔵町の糸原海岸で大分ケーブルテレコム(株)の「ケーブルテレビの森」開設式が、同社、東部振興局、上・下糸原区民、東国東郡森林組合から約80人が参加して行われました。

当日は好天に恵まれ、参加者は抵抗性クロマツ200本を植樹し、苗木には各自で記入したネームプレートを結び付けました。



## 愛育班手記「30年の想いを引き継いで」 全国大会で表彰

子育て世帯や高齢者への「声かけ」や「見守り」などの活動で健康づくりを推進している武蔵町東地区愛育班の松原文子さんの手記が、全国の愛育班手記の中から佳作に選ばれ、4月20日に東京都で行われた「第42回愛育班全国大会」で表彰されました。

手記では、松原さん自身が愛育班の「声かけ」によって勇気づけられたことや、武蔵町で30年以上引き継がれている愛育班の活動などがつづられています。

5月10日(月) ▶ 受賞の報告に市役所を訪れました。(左から)武蔵町愛育会佐木恵子会長、松原さん、野田市長



## むさしこども園 花祭りパレード



5月7日(金)、武蔵町糸原のむさしこども園(正本秀崇園長)で、お釈迦様のお誕生日を祝う花祭りが行われました。園児88人は保護者の皆さんと一緒に白い象の台車を引きながら、同園から武蔵保健福祉センターまで頑張ってパレードしました。